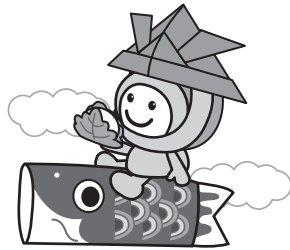


あ げ お



第211号
令和6年(2024)
5月号

発行 / 上尾市議会
編集 / 議会報編集委員会
〒362-8501
埼玉県上尾市本町3-1-1
電話 048-775-9467

議会 だより



LIVE配信^{*}してるって、ご存じですか？



主な内容

予算特別委員会	2ページ
審議された主な議案	3ページ
委員会審査、討論	3～5ページ
提出議案・請願とその結果	5～6ページ
市政に対する一般質問	7～15ページ
委員会活動	16ページ



※本会議の映像はLIVE・録画配信し、委員会などの映像は録画配信しています。

上尾市 議会中継



わたしたちの税金はどう使われる？

令和6年度一般会計予算を審査

令和6年3月定例会では「予算特別委員会」を設置し、皆さんの生活に直結する令和6年度一般会計予算を集中的に審査しました。

ここでは、昨年9月に決算特別委員会から市に提言した項目の予算措置状況に関する質疑を中心に、一部を抜粋してご報告します。

委員構成（◎が委員長、○が副委員長）

◎星野良行 ○樋口 敦 黒須喜美雄
田島 純 坂東知子 新道龍一
島津秋男 小高 進 井上淳子
佐藤恵理子 平田通子 前島るり
海老原直矢 浦和二郎

提言
スポーツ施設の環境整備

問 令和6年度に実施する内容は、平方小、平方東小、平方北小の社会体育トイレの洋式化を実施し、学校施設開放で利用する小学校全てのトイレ改修を完了する。

答 また、平塚サッカー場に利用者の熱中症対策として冷蔵庫を1台、一時療養のための簡易ベッドを2台設置する予定である。

提言
災害対策の強化

問 災害時情報集約・リアルタイム映像共有事業の成果指標は、

答 大規模災害が発生してもスムーズな状況把握、的確な指示を出せるよう、災害時職員体制配備時に、電子地図を活用した情報共有を行う割合を100%とした。

問 平時の利活用方法は、

答 操作訓練を定期的に実施する。また、導入するタブレット端末は各部署で河川監視やウェブ会議などに活用する他、災害対策本部で使用する電子黒板は、会議室で常時利用できるようにする。

提言
地球温暖化対策の推進

問 上尾駅前の冷却ミスト整備の目的と効果について伺う。

予算組み替え動議[※]を可決

令和6年度一般会計予算に対し、委員から予算組み替え動議が提出され、賛成多数で可決しました。その後、市長・担当部長から動議の可決に伴う説明があったことを受けて予算原案を採決した結果、賛成多数で可決しました。

予算組み替え動議の概要

- (1) 片品村カーボンオフセット負担金について
予算額に対する温室効果ガス削減効果が非常に少なく、事業効果に疑問がある。市が積極的に支出する理由はなく、再考を促す。
- (2) 部活動地域移行推進事業について
イングリッシュサロンの設立を目的とした外国人指導助手およびコーディネーター派遣委託料が計上されているが、制度設計が曖昧で事業効果に疑問がある。市が積極的に実施する理由はなく、再考を促す。

動議の可決に伴う市長・担当部長の発言要旨

- (1) 出前講座や環境学習会などの教材として内容を充実させ、CO₂排出量削減の難しさ、発生抑制の重要性を学ぶ機会を増やす他、小・中学校にデジタル資料を配布する。
- (2) 英語の得意不得意にかかわらず気軽に参加できる地域クラブ活動にする。また生徒の満足度、参加費設定、マネジメント対応などを丁寧に検証し、文化芸術活動に係る地域クラブ活動運営のノウハウの構築に努めたい。

答 熱中症などの健康被害の軽減と快適でにぎわいのある駅前創出を図ることを目的としており、噴霧エリアの気温が2度から3度低くなる効果が期待できる。

提言
教育環境・子育て施策の充実

問 イングリッシュサロン設立の経緯を伺う。

答 本市では、文化芸術に関する部活動の地域移行に課題があったことから、これまで教育に力を入れてきた英語を使った地域クラブ

活動ができないかと考えた。

問 不登校対策の取り組みは。また、フリースクールや子どもの居場所を提供する人に対し、経済的な支援の実施は検討しているか。

答 大谷小に学校適応指導教室分室を開設する他、効果やニーズを検証しながら支援を充実していく。また、経済的支援は現在実施していないが、不登校対策推進委員の意見を聞くとともに、先行自治体の調査や民間施設への訪問を継続して行っている。

※「予算組み替え動議」とは、予算を議会が望む内容に長が自発的に改めることを求めるものです。動議が可決されると審査を続けても予算が否決される可能性が高いため、長は何らかの対応を求められます。

Pick Up!

令和6年3月定例会 審議された主な議案

3月定例会で審議された議案は、市長提出議案（追加提出議案を含む）36件、議員提出議案7件の計43件で、41件を原案のとおり可決・承認・同意し、2件を否決しました。

議案第6号 令和6年度上尾市一般会計予算

4つの基本方針に基づく予算を編成 一般会計の予算規模 788.8億円（前年度比+54.2億円）

① 次代を担う人への投資・活力と賑わいの創出

- ・子どもの医療費無償化を18歳まで拡充
- ・オンラインによる子育て支援を実施
- ・スクールロイヤーを設置
- ・民間スイミングスクールを活用した水泳授業を推進
- ・上尾丸山公園の大型遊具を更新 他

② DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進

- ・本庁舎と出張所に証明書交付対応行政キオスク端末を設置
- ・マイナンバーカード交付管理・予約システムを整備
- ・市内公共施設にAgeo Free Wi-Fi（公衆無線LAN）を増設
- ・ICTを活用した特定保健指導を実施 他

③ 住民の命を守るための防災・減災対策の充実・強化

- ・災害時協力井戸制度を開始
- ・災害時情報集約・リアルタイム映像共有システムを整備
- ・住民参加型避難訓練などの充実
- ・県スポーツ科学拠点整備に併せた雨水流出抑制施設整備に着手
- ・上尾平方線の無電柱化整備を推進 他

④ 将来を見据えた持続可能なまちづくりの推進

- ・住宅断熱改修や電気自動車充電設備の設置を助成
- ・小学校での断熱改修ワークショップを実施
- ・本市独自の健康ポイントアプリを導入
- ・自転車用ヘルメット購入補助制度を創設 他

※その他の議案や議決結果については、5～6ページ「令和6年3月定例会提出議案・請願とその結果」をご参照ください。

委員会審査から

総務、都市整備消防、文教経済、健康福祉の各常任委員会は、付託された議案などの審査を行いました。以下、審査の過程で取り上げられた質疑の中から主なものについてお知らせします。

総務常任委員会

条例 公文書管理条例を制定

〈父モ〉市の諸活動について、現在および将来の市民に説明する責務を全うするため、公文書の適正な管理に関し基本的な事項を定めるもの。

委員 条例の制定により、現在の文書管理の方法と変わる点は。

答 近年増えている電子文書の取り扱いを含めること、特定歴史公文書の目録を公表していくことが大きな変更点である。

委員 恣意的な廃棄を防止するための方策を考えているか。

答 職員の意識を変えるために、所属長を含めて毎年研修を行っていく必要があると考える。また、電子文書は、保存期間が1年未満

の行政文書であってもシステムにより自由に廃棄することができないが、紙の文書についても随時廃棄するのではなく、年度末に総務課職員の確認の上で廃棄する運用を検討している。

都市整備消防常任委員会

当初予算 災害用マンホールトイレを2カ所に設置

〈父モ〉災害時などに使用するマンホールトイレを、東町小学校および大谷中学校に設置するもの。

委員 今後の設置計画は。

答 マンホールトイレは令和5年度末時点で約25カ所に設置しており、公共下水道区域内の指定避難所の約60%に整備している。今後、区域内の指定避難所となつていく施設に設置していく方針である。

文教経済常任委員会

条例 平方北小の学校規模の適正化を協議

〈父モ〉上尾市立平方北小学校に関する学校規模の適正化について協議し、子どもの学びに望ましい学校規模を実現するため、付属機関として「上尾市立平方北小学校

再編検討協議会」を設置するもの。
委員 平方北小の今後の入学予定者数は。

答 1学年当たり10人台で推移していくものと見込んでいる。

委員 協議会は公開されるか。

答 傍聴可とし、会議録も公開する方向で検討している。

委員 保護者や地域住民への理解を求める上で、協議会だけでなく対面での説明会が必要ではないか。

答 協議会の役割は、地域の意見をまとめて教育委員会に報告することであるため、現時点で対面での説明会は予定していない。ただし、仮に協議会の結果を受けて教育委員会が統廃合することを決定する場合、大きな政策転換となることから、その際には地域へ説明しなければならないと考えている。

健康福祉常任委員会

条例 大石保育所などを閉園

委員 耐震診断などの結果を踏まえ上尾市立大石保育所を閉所する他、市立保育所として時限的に運営してきた上尾市立紅花保育園を閉園するもの。
委員 紅花保育園在園児のスムーズな移行はできているか。

答 令和6年度はほとんどの在園児が近隣の私立保育園に通園することになっており、問題なく移行できている。

委員 大石保育所が閉所すると、地域の相談拠点や災害時の保育場所がなくなってしまうが見解は。

答 耐震基準が満たないため閉所はやむを得ないが、同地域の畔吉保育所や上尾西保育所に対応したいと考えている。また、近隣に民間保育施設を誘致していく。

討論

令和6年度上尾市一般会計予算

賛成 政策・市民の声 委員会における組み替え動議に基づく事業の見直しを受け賛成する。今後は理解が得られる事業設計を求める。

賛成 公明党 前年度予算と比べて7・4%増額したとはいえ、限られた財源の中、市民にとって期待の持てる内容となっている。

反対 共産党 市民の税金は基金に積み上げるのではなく、市民要望に添えて、市民のために執行することを強く求める。

反対 無党派(坂東) 英語クラブ事業は計画性が不十分で、特別

教室へのエアコン設置も予算化されておらず、賛成できない。

反対 無党派(秋山) 教員の負担をどう減らすか、学級支援員をどう増やすかというところにもっと予算を配分すべきである。

令和6年度上尾市国民健康保険特別会計予算

反対 共産党 増税は年金者や非正規雇用者、個人事業主などの家計を圧迫する。均等割の廃止、法定外繰り入れの継続を求める。

反対 無党派(坂東) 物価高で生活の苦しい国民が多い中、年々保険料を上げるのではなく、国が国債を発行し控除すべきである。

※議案第8・9・27号についても同様の理由から反対討論がありました。

反対 無党派(秋山) 医療保険と介護保険がダブルで値上げされる。高齢者負担が増え、年金生活者の暮らしを直撃してしまう。

※議案第8・9号についても同様の理由から反対討論がありました。

令和6年度上尾市介護保険特別会計予算

反対 共産党 保険料が上がると払えない人が増え、使いたくても使えない保険制度になってしまう。

令和6年度上尾市後期高齢者医療特別会計予算

反対 共産党 来年度以降も増額される予定であり、窓口2割負担導入も大打撃となつて、受診控えが報告されている。

令和6年度上尾市水道事業会計予算・令和6年度上尾市公共下水道事業会計予算

反対 無党派(秋山) 他市と比較して水道原価が高い。入札時期を前年の10月ごろに変えてほしい。

上尾市公文書管理条例の制定

賛成 政策・市民の声 公文書は市民の共有財産である。政策決定過程や指示事項なども記録され、より開かれた市政となると考える。

上尾市立平方北小学校再編検討議会条例の制定

反対 共産党 いじめや不登校が増える中で、小規模校の良さを生かす学校もある。統廃合を目的としていることに反対する。

反対 無党派(坂東) 当事者である教員にも説明が不十分であると感じた。学校施設更新計画は市民への説明も不十分だと感じる。

反対 無党派(秋山) 学校とは地域の財産で、一度なくしてしまつたら元に戻すことは難しい。平方全体への波及を考え反対する。

上尾市戸籍法関係手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定

反対 無党派 (秋山) 無国籍の人に対する救済制度が想定されていない中、全国で戸籍証明などが受けられることは時期尚早である。

上尾市立保育所条例の一部を改正する条例の制定

反対 共産党 大石保育所は地域の相談拠点など重要な役割がある。老朽化などを理由に削減する計画は、やめるよう求める。

反対 無党派 (坂東) 年度途中ではなく入所時から閉所時期が分かる体制であるべきで、保護者の立場を考慮すると賛成できない。

反対 無党派 (秋山) 公立保育所の役割は大きい。これ以上減らすべきではない。

上尾市敬老祝金条例の一部を改正する条例の制定

反対 共産党 高齢者のささやかな祝金を減らすことに反対する。

反対 無党派 (坂東) 祝金を減額する代わりに自治会への交付金が増額しても、自治会に加入していない人には何の恩恵もない。

反対 無党派 (秋山) 長生きの人にお祝いを差し上げることは必要なことではないかと思う。そういう予算を減らさないでほしい。

という予算を減らさないでほしい。

令和6年3月定例会 提出議案・請願とその結果

※詳しくは市議会ホームページの「議案」をご覧ください。



◎市長提出議案 (36件)

議案番号	議案名	議決結果
議案第1号	令和5年度上尾市一般会計補正予算 (第10号)	原案可決
議案第2号	令和5年度上尾市一般会計補正予算 (第11号)	
議案第3号	令和5年度上尾市国民健康保険特別会計補正予算 (第3号)	
議案第4号	令和5年度上尾市介護保険特別会計補正予算 (第3号)	
議案第5号	令和5年度上尾市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)	
議案第6号	令和6年度上尾市一般会計予算	
議案第7号	令和6年度上尾市国民健康保険特別会計予算	
議案第8号	令和6年度上尾市介護保険特別会計予算	
議案第9号	令和6年度上尾市後期高齢者医療特別会計予算	
議案第10号	令和6年度上尾市水道事業会計予算	
議案第11号	令和6年度上尾市公共下水道事業会計予算	
議案第12号	上尾市公文書管理条例の制定について	
議案第13号	上尾市自転車駐車場条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第14号	上尾市監査委員に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第15号	上尾市立平方北小学校再編検討協議会条例の制定について	
議案第16号	上尾市職員の給与に関する条例及び上尾市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第17号	上尾市税条例及び上尾市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第18号	上尾市戸籍法関係手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第19号	上尾市租税特別措置法関係手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第20号	上尾市建築基準法等関係手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第21号	上尾市建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律関係手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第22号	上尾市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の制定について	
議案第23号	上尾市民体育館条例及び上尾市平塚サッカー場条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第24号	上尾市立保育所条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第25号	上尾市敬老祝金条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第26号	上尾市重度心身障害者医療費支給条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第27号	上尾市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第28号	上尾市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について	
議案第29号	上尾市水道事業の設置等に関する条例及び上尾市公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第30号	上尾市水道事業給水条例及び上尾市水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	
議案第31号	専決処分の承認を求めることについて【令和5年度上尾市一般会計補正予算 (第9号)】	承認
議案第32号	財産の取得について【小学校教師用指導書】	原案可決
議案第33号	財産の取得について【小学校教師用指導書】	

議案番号	議案名	議決結果
議案第34号	市道路線の認定について	原案可決
議案第35号	公平委員会委員の選任について【大井川茂氏】	同意
議案第36号	上尾市税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決

◎請願（1件）

請願番号	請願名	議決結果
請願第1号	健康保険証廃止に関する国への意見書提出の請願	採択

◎議員提出議案（7件）

議案番号	議案名	議決結果
議第1号議案	『集団殺害罪の防止及び処罰に関する条約（ジェノサイド条約）』の早期批准を求める意見書	原案可決
議第2号議案	食品ロス削減への国民運動の更なる推進を求める意見書	
議第3号議案	認知症との共生社会の実現を求める意見書	
議第4号議案	金権腐敗政治を一掃することを求める意見書	原案否決
議第5号議案	コミュニティーバスを存続させ、地域公共交通の充実発展を図り、利用者の交通権を保障することを求める意見書	原案可決
議第6号議案	国産食料の増産、食料自給率向上、家族農業支援強化を求める意見書	原案否決
議第7号議案	健康保険証廃止に関する意見書	原案可決

◎本議会において賛否が分かれた議案・請願 ※○=賛成 ×=反対 ■=退席 ※議長は採決に加わりません。
※一覧に掲載されていない議案は、全会一致で可決・承認。

議案（請願）番号	議決結果	あげお志誠ネットワーク					政策フォーラム・市民の声あげお					公明党上尾市議団			日本共産党上尾市議団			会派に属さない議員												
		黒須喜美雄	小池佑弥	田島純	原田嘉明	新道龍一	田中一崇	斎藤哲雄	星野良行	大室尚	稲村久美子	樋口敦	荒川昌佑	矢口豊人	海老原直矢	浦和三郎	井上茂	篠原文子	島津秋男	小高進	井上智則	前島るり	井上淳子	轟信一	新藤孝子	平田通子	坂東知子	津田ひとみ	秋山かほる	金澤祥子
議案第6号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	採択	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第1号議案	原案可決	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第4号議案	原案否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第5号議案	原案可決	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第6号議案	原案否決	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第7号議案	原案可決	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

3月19日 本会議
委員長報告、討論、採決、議員提出議案の上程、説明、採決、閉会

3月14日 本会議
一般質問、追加提出議案に対する質疑、委員会付託

3月13日 本会議
一般質問

3月12日 本会議
一般質問、追加提出議案の上程および説明

3月7・8・11日 委員会
予算特別委員会

3月5日 委員会
一般質問

3月4日 委員会
文教経済・健康福祉常任委員会

3月1日 委員会
総務・都市整備消防常任委員会

2月22・26・28日 委員会
予算特別委員会

2月21日 本会議
提出議案に対する質疑、委員会付託
予算特別委員会、総務・健康福祉常任委員会
議案第1・18号の委員長報告、委員長報告に対する質疑、討論、採決

2月16日 本会議
開会、市長提出議案の上程および説明

3月定例会の動き

他市からの行政視察

- 1月18日 三重県鈴鹿市「ヤングケアラー」
- 1月23日 千葉県八千代市「子ども・若者ケアラー支援」
- 1月23日 香川県東かがわ市「子ども・若者ケアラー支援」
- 1月31日 北海道江別市「児童館こどもの城」
- 4月11日 長野県千曲市「議会運営全般」他



一般質問とは？

議員が、市に対し事務の執行状況や将来に対する方針などについて、報告・説明を求めたり、質問したりすることです。

3月定例会では、3月7・8・11・12・13・14日の6日間行われ、26人の議員が市政全般86項目にわたって市当局の見解を求めました。また6日間で延べ138人の皆さんが議会を傍聴しました。

※一部を抜粋し掲載しています。詳細は、5月下旬に市議会ホームページで公開予定です。

各議員の2次元コードをスマートフォンのカメラ機能などで読み取ることによって、一般質問の録画映像を視聴できます。



上尾運動公園の再整備 防災施策の強化



矢口豊人（政策・市民の声）

問 上尾運動公園の再整備 観客席5千席以上のアリーナ設置指針が県で示された。プロ選手が使うコートでのスポーツ体験は、子どもたちには夢のある話である。コンサートや芸術祭など文化的なイベント開催も可能性がある。また、地域の貴重なシンボルとして、埼玉上尾メディックスへの支援も拡充してほしい。運動公園再整備に向けた市長の意気込みを伺う。

答 新たな上尾運動公園エリアがにぎわいの創出や市民の利便性に寄与するものとなるよう、市議会とも協力して取り組んでいく。

その他の質問 学童保育



石川県へ給水作業支援に派遣された上下水道部の職員から体験談を聞く

問 能登半島地震に際し、本市の職員が給水支援活動に従事したと聞く。被災地での体験を生かし災害時の対応力向上を期待するが、大規模災害では建物の倒壊を減らすことが最重要である。旧耐震基準の住宅の耐震対策をさらに強化してほしいが、まずは家具転倒防止器具の取り付け支援を制度化できないか。

答 関係部局などと連携し、災害時要配慮者がある世帯などを対象とした家具転倒防止器具の取り付けに対する支援を検討していく。

愛宕三丁目周辺の交通政策 地域猫活動への支援策



小池佑弥（志誠ネット）

問 愛宕三丁目周辺の交通政策 GLP上尾のテナント応募状況は。

答 1社の入居が決まっております。令和7年5月ごろから稼働する。

問 整備計画の当初に協議した渋滞対策は、順守されているか。

答 要望した内容は現状順守されている。

問 テナント稼働後に新たな交通対策が必要となった場合、どのように対応するのか。

答 テナントの車両走行ルートの状況を見ながら、必要に応じて事業者と協議していく。

問 愛宕三丁目の生活道路が渋滞回避のための抜け道となっている。安全確保を図る必要があると考えが見解は。

答 現状を調査の上、どのような安全対策を行うべきか検討する。

問 地域猫活動への支援策 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術に対する補助について、令和6年度の変更点は。

答 補助金を獣医師に直接交付するのではなく、手術費用を負担した市民に交付することで、自身の都合に合わせて病院や手術日時を選択できるようにする。

問 保護猫を譲渡する機会を増やすため、市でも譲渡会を実施すべきと考えが見解は。

答 コロナ禍以前と同様に、各団体が行う事業に対し協力していく。

その他の質問 埼玉版スーパージョイプロジェクト 県立武道館大規模修繕の影響

県スポーツ科学拠点施設整備に 市の要望の反映を

星野良行（志誠ネット）



問 埼玉県が進めているスポーツ科学拠点施設整備について、公募設置指針や事業スケジュールが公表され、県議会においても関連予算が審議されたが、これまでに市が行ってきた要望ほどの程度反映されているか。

答 本年1月に県が公表した「埼玉県スポーツ科学拠点施設整備運営事業公募設置等指針案」では、本市の提案であるランニングコースなどの設置が盛り込まれた他、基本計画ではメインアリーナの観客席が3千席以上となっていたが、室内プロスポーツの試合などが開催できる5千人以上に変更された。

問 今後の予定は。

答 公募設置等指針の公表後、公募説明会、事業者対話、公募設置等計画などの提出を経て、本年9月から設置等予定者の選定、公募設置等計画の認定・公示、基本協定の締結を順次行い、来年7月ごろに実施協定の締結の上、工事を開始する予定とのことである。

問 本市のさらなる発展の契機となり得るが、市の思いを伺う。

答 詳細な事業計画が明確になった際は、より詳細に検証を行い、必要に応じて新たに要望することも検討したい。その際には、改めて市議会や関係団体と協力して取り組みたい。

その他の質問

- がん対策
- 図書館計画
- 補助金交付

高齢者に優しい交通手段の導入を

小高 進（公明党）



問 本市では、高齢ドライバーの事故を防止するため、満75歳以上の人が運転免許証を自返納した場合に「ぐるっとくん」の乗車回数券を配布しているが、回数券の使用状況は。

答 令和2年度の延べ利用者は502人、令和3年度は1372人、令和4年度は1873人であった。

問 毎年9月には、敬老月間事業として65歳以上の市民は「ぐるっとくん」乗車時に介護保険被保険者証などを提示し無料で乗車できるが、利用状況は。

答 令和2年度は8790人、令和3年度は7962人、令和4年度は9358人、令和

5年度は1万8888人の利用があった。

問 介護サービス事業所の送迎車両を活用し

利用したい人とマッチングするなど、市民の新しい交通手段を検討してほしいが、デマンド型交通の導入に対する市の見解を伺う。

答 上尾市地域公共交通計画で「ぐるっとくん」の運行見直しを重点施策に位置付けていることから、令和7年度の運行見直しに向けて最優先で取り組んでいる。まずは、運行見直しの効果検証を図りつつ、タクシー車両の有効活用についても研究を進め、利便性の高い地域公共交通実現に向けて取り組んでいく。

その他の質問

- 上平広場の今後
- 特別教室のエアコン設置

不登校児童生徒のために 「学びの多様な学校」の検討を

稲村久美子（政策・市民の声）



問 不登校児童生徒への支援は、最終目標をどこに置いていくか。学校に戻ることなのか。

答 登校するという結果のみを目標とするのではなく、児童生徒が自らの進路を主体的に捉え、社会的に自立することを目指している。不登校は、休養などの積極的な意味を持つことがある一方で、学業の遅れや進路選択上の不利益など社会的自立を目指す上でのリスクがあることにも留意する必要がある。

こうしたことを踏まえ、学校や教育センターは、不登校児童生徒の状況を小まめに把握するとともに、個々の状況に合わせた見守

りや相談・援助、登校に向けた働きかけなどの支援を展開することが重要と考えている。

問 不登校児童生徒は年々増加傾向にある。その対策として文部科学省が提案する「学びの多様な学校」は全国で24校開校しており、さらには300校まで拡大することを目指している。本市では「学びの多様な学校」を設置できないのか。

答 設置場所や児童生徒のニーズ、教職員の確保などが課題で、現時点では考えていない。しかしながら、先行自治体の動向を注視し調査分析を重ね、本市に有効と考えられる取り組みの参考としたい。

その他の質問

- 校長会テスト
- 引きこもり
- グリーフケア

雨水流出抑制施設の整備計画は

井上 茂 (政策・市民の声)



ル規模の施設を想定している。

問 県と市の施設を合算すると、学校のプール何杯分になるか。

答 一般的な学校に設置されている25メートルプールに換算すると、約7杯分に相当する。

問 現在の建設計画、協議の進捗状況は。

答 本市が設置する雨水流出抑制施設については、令和5年度に県と協議を行った際に、スポーツ科学拠点施設整備事業に支障がない範囲で整備することを条件に、事業用地の協力が得られている。

問 完成予定時期は。

答 令和6年度に設計した後、令和7年度に工事を行い、単年度で完成する予定である。

問 県では、公募設置管理制度による事業者公募の条件の中で1700立方メートル規模の雨水流出抑制施設の設置を想定している。また本市では、現時点で1000立方メートル

規模の施設を想定している。

その他の質問

- 学童保育の充実
- 生活道路の改善

オンラインなどを活用して 支所機能の強化を

海老原直矢 (政策・市民の声)



にオンライン相談を進めていくと認識している。オンライン相談を始める際には、支所のスペースの確保や操作の補助などができるよう取り組んでいきたい。

問 支所への市民が利用可能な端末の設置や補助が可能な職員の配置など、電子申請の普及のための施策を進めるべきであると考えているがどうか。

答 支所は、各地域の中心として身近な行政サービスを提供する場であることから、持続可能な都市経営において、地域拠点での支所の機能は大変重要であると認識している。

問 オンラインを活用するなどして支所で相談などができる体制を整備すべきと考えるがどうか。

答 「上尾市ICT推進計画」でオンライン化を推進しており、市民の利便性向上のため

にオンライン相談を進めていく。

その他の質問

- 歴史・民俗資料の収集・保護
- 市政への市民参加

省エネ家電買い替えに補助を 安心安全な公園遊具設置を

前島るり (公明党)



村の状況を見て効果を検証していく。

問 丸山公園に新設される遊具には、障がいのある子もない子も一緒に遊べる「インクルーシブ遊具」を以前より要望していたが、今後の設置予定を伺う。

答 寄付金額に応じたインクルーシブ遊具の設置を予定している。遊具の選定は、発達支援相談センターやつくし学園へのアンケート調査の結果に基づき決定していきたい。

問 ゼロカーボンシテイ実現には、市民や市内事業者の協力が不可欠である。多くの市民が参加でき、市内経済の活性化につながる取り組みとして、省エネ家電買い替え補助制度の創設を提案するが、市の見解を伺う。

答 ゼロカーボンシテイ実現には、行政だけでなく市民や事業者の協力が必要である。市民が実施をちゅうちょするような経済的負担が大きいCO₂削減策に取り組めるよう、奨励金の制度を設けている。買い替え頻度が高い省エネ家電については、実施している市町

村の状況を見て効果を検証していく。

その他の質問

- 医療的なケア等が必要なお子さんへの支援
- 児童生徒のプライバシーや心情に配慮した健康診断を
- 「ことぶき荘」の今後と高齢者サービス

通学路における安全対策の状況は

篠原文子（公明党）



問 令和3年の八街市における交通事故を受けて、令和5年度末までに全国一斉で通学路の安全点検が実施されてきた。しかしながら、鴨川小学校や南中学校の周辺道路は危険と感

じる。どのような安全対策が考えられるか。

答 鴨川小学校周辺の市道の路面標示は、現地調査の上、消えかかっている箇所

の塗り直しを行っていく。また、南中学校北側交差点は下り坂になっており、自転車の速度が出やすいことから、運転者に注意喚起を促すなどの安全対策を検討する。

問 「こどもまんなか社会」を実現する上で、全ての子どもの通学路

の安全確保が大変重要である。今後もさらなる安全確保をお願いしたいが、どのように取り組んでいくか。

答 市PTA連合会からの通学路危険箇所改善要望書や地域からの要望などを踏まえ、保護者や地域住民、警察の協力の下、引き続き通学路安全マップを作成するなど、児童生徒の安全を最優先に、通学路の安全対策を進めていきたい。



路面標示が消えかかっている鴨川小学校周辺の道路

その他の質問

- 上尾市のふるさと納税
- ゆりが丘公園の整備
- 愛宕・西宮下周辺の渋滞、振動対策

大規模災害時に安心して避難できる環境を

井上智則（公明党）



問 福祉避難所では、医療的ケア児などの受け入れは可能か。受け入れできない場合、避難先はどうなるのか。

答 福祉避難所は主に市内の福祉施設であり、施設ごとに設備や受け入れ可能となる要配慮者が異なるため、全ての施設で受け入れることは難しい。市としては、人工呼吸器用自家発電機外部バッテリーを日常生活用具の補助メニューとしており、災害時に自宅での安全確保ができる場合には、かかりつけ医と相談の上で自宅で療養を続けるなど、日頃からの備えもお願いしたい。また、福祉避難所の受け入れ体制の拡充に協力

いただけるよう、施設に働きかけていきたい。大勢の人と一緒にいるのが苦手な人、例えば発達障がいや自閉症などの子どもや女性が安心できる避難所にするために、どのような取り組みがあるか。

答 体育館などの一般避難スペースでの共同生活が難しいなど特に配慮を要する場合には、個室を確保するよう避難所運営マニュアルや避難所開設キットに定めている。また、女性への配慮に関しても、避難所運営において漏れなく対応できるように、避難所運営マニュアルや避難所開設キットに具体的な配慮事項を記載している。

その他の質問

- 不登校支援
- スポーツ科学拠点施設の進捗

食品ロス削減の取り組みを進めて

島津秋男（公明党）



問 本市における食品ロスの取り組み状況は。

答 令和3年度から、食品ロス削減推進月間である10月に、社会福祉協議会との共催によりフードドライブを実施している。また、食品ロス削減3010運動、フードバンクの活用について、市ホームページなどで周知啓発に努めている。

問 専用アプリなどを活用して、店舗などで廃棄されてしまう商品を消費者とマッチングさせる「フードシェアリング」は、食品ロスを減らし、飲食店なども支援できる二重のメリットがある。既に取組んでいる自治体もあるが、上尾版フード

シェアリングサービスを実施できないか。

答 市内の飲食店などにおけるサービス実施の現状を把握していく。

問 市民に対しては、食品ロスの取り組みをどのように周知、啓発しているか。

答 家庭や飲食店に対し「使い切り・食べきり運動」を推進している。また、環境イベントなどの他、市ホームページ、広報誌やSNSを効果的に活用し、周知啓発に努めていく。



令和5年10月に開催したフードドライブの様子

その他の質問

- 帯状疱疹ワクチン接種費用の助成
- 子どもたちに寄り添った児童保育の今後

学級閉鎖のときに子どもを 預けられる取り組みは

津田ひとみ（無党派）



休業の決定の当日または翌日から実施するよう努めている。

問 学校において、インフルエンザなどの感染症により臨時休業とする場合の基準はどうなっているか。

また、臨時休業の決定から実施まで、何日を要するか。

答 感染症による臨時休業の基準については、学校保健安全法において、感染症の予防上必要があるときは臨時に学校の全部または一部の休業を行うことができる」と定められており、校長が学校医に相談した結果を踏まえ、教育委員会が適切に対応している。

問 働いている保護者は、子どもが元気なら預けて仕事に行こうと考えるが、学級閉鎖時に元気な子どもを預けることができる施設はあるか。

答 一時的または恒常的な預かりとして、有償ボランティアが対応する「あげおファミリ―サポート・センター事業」がある。

また、令和6年度から新たに、突然の学級閉鎖などによる急な預かりにも対応可能な「緊急サポートセンター事業」を実施する予定である。

その他の質問

- 選挙
- 高齢者支援（移動手段・見守り等）
- IT化推進の進捗

学校現場の声を反映した 教育環境の整備を進めて

坂東知子（無党派）



を進めることを原則として、まずはより安全な新耐震校舎への更新を急ぎたい。

問 給食調理室や特別教室にエアコン設置を求める請願が全会一致で採択されたが、予算化されていない。

先日、市内の中学校を視察した。効率性や利便性を考慮して、特別教室には冷風機を設置したとのことだが、学校現場では不評だった。現場の状況が理解できていないのであれば、エアコン設置費用を予算化すべきではないか。

答 多くの学校施設は建築後50年以上が経過し、老朽化が進んでいることから、学校施設更新計画実施計画に基づき、施設更新を進めていく。普通教室以外エアコン設置は、施設更新に合わせて整備

その他の質問

- 選挙の投票率改善
- 水道検針及び上水道料金・下水道使用料徴収業務
- 資源回収

北上尾駅東口周辺の課題は

樋口 敦（政策・市民の声）



民から枝を切除するよう要望があるにもかかわらず、実施に至っていない理由は。

問 現在行われている旧中山道の拡幅整備に関する事業概要は。

答 県が事業主体となり、北上尾駅入口交差点南側の緑丘三丁目2番付近から久保西交差点北側の大字上180番地付近までの区間、延長502メートルを計画幅員である16メートルから17・5メートルに整備する。

問 久保西交差点から北上尾駅入口交差点の区間の整備予定は。

答 北本県土整備事務所に確認したところ、土地所有者の同意が得られないため、未定とのことである。

問 当該箇所は歩道が狭い上、枝がせり出しており危険である。市

答 土地所有者に対し伐採指導をしているとのことである。

問 PAPA上尾ショッピングアベニュー前の歩道への自転車駐輪について、道路管理者として見回りや指導はできないのか。

答 道路法による放置自転車移動は、道路修繕工事や緊急時に、長期間放置された車両管理者がいない場合に限り、また撤去に関しては、価値がなく廃棄物と認められた場合しか実施できないことから、道路管理者として指導することは難しい。

その他の質問

- 給食の衛生管理
- 小中学生の校外行事

防災と災害対応／ゼロカーボンの施策



原田嘉明（志誠ネット）



防災と災害対応

問 上下水道における耐震対応の状況は。

答 令和4年度末時点、下水道は約30%、下水道は約42%の管路の耐震化が完了している。また、重要給水施設管路の耐震化率は令和5年度末で50%を超える見込みで、今後も災害対応に重点を置いた整備を推進していく。

問 被災証明書の対応状況は。

答 被害認定調査から罹災証明書の発行まで一括で管理できる「被災者生活再建支援システム」を導入し、より迅速な発行に努める。

問 日本一の防災都市実現への進捗状況は。

答 東日本大震災での

故郷の陸前高田市の姿が忘れられず、同じ思いをしてほしくないとの思いで発言したものであり、具体的な評価指数は定めていない。

今後は、災害時協力井戸制度や災害時情報集約・リアルタイム映像共有システムを導入し、防災・減災対策の強化を図りたい。

ゼロカーボンの施策

問 市施設活用予定は。

答 太陽光発電の設置は、新設・改築する際に導入を推進する。

問 調節池などの市有地を活用できないか。

答 フロート太陽光発電の設置については、周辺環境を踏まえ、調査、検討を進める。

その他の質問

- 実証実験や先進補助事業等への取組み
- 産業振興と環境整備
- 市政運営

包括的性教育の推進を／地産地消の おいしい給食を無償化に



井上淳子（日本共産党）



包括的性教育の推進を

問 被害者も加害者も生み出さないために、体や生殖の仕組みだけでなく、人間関係や性の多様性、ジェンダー平等、幸福など幅広いテーマを含む「包括的性教育」が非常に重要だとされる。小・中学校での性教育の現状は。

答 性に関する指導の年間指導計画を作成し、児童生徒の発達段階を考慮し、小学1年生から系統的な指導を行っている。

問 学校現場以外ではどのような取り組みをしているのか。

答 人権男女共同参画課では、産婦人科医や助産師を講師とした出張講座を行っている。

令和5年度は、小学校2校と全ての中学校で実施した。

地産地消のおいしい給食を無償化に

学校給食費について

問 学校給食費について、第3子以降を無償化している中には、第1子を18歳までとする自治体もある。子育て支援はこども医療費と学校給食費の無償化が車の両輪と考える。こども医療費の無償化が18歳まで拡大した今、次は学校給食費無償化の拡大に踏み出すべきと考えるが、市長の考えを伺う。

答 学校給食の無償化など、さらなる支援策については、国の動向を注視するとともに調査、研究を進めていく。

その他の質問

- 保育所の待機児童解消
- 子育て応援の市政

高齢者に優しい上尾市に



轟 信一（日本共産党）



带状疱疹ワクチン接種補助の要望はあるのか。

問 带状疱疹ワクチン接種補助の要望はあるのか。

答 令和5年5月1日付で、上尾市医師会から「带状疱疹ワクチンの助成についての要望書」が提出された。

問 要望書を受けて、どのような検討をされたのか。

答 助成を実施している自治体への調査を行うとともに、近隣市町の助成状況などを踏まえ、本市で助成を実施した場合の経費の試算などを行っている。

問 今後、本市でワクチン接種の助成をする予定はあるのか。

答 厚生科学審議会小委員会では、疫学的・科学的知見を踏まえ、

組み替えワクチンの有効性、安全性や費用面などが引き続き議論されている。そのため、

ワクチン接種の必要性は認識しているが、十分な助成をするには多額の予算が必要になることなどから、国や県の動向を注視している。

問 誰もが補聴器を買えるようにしてほしいとの声が届き、独自で助成を行う自治体がこの1年で2倍に増えた。加齢性難聴者への補聴器購入補助について、市の考えは。

答 国や県の支援の動向を注視するとともに、県内で補助を実施している自治体の事例を参考に、有効性などを引き続き研究していく。

その他の質問

- 水泳授業
- 大規模解消で安心できる学童保育所に

医療的ケア児に対する支援の状況は



荒川昌佑（政策・市民の声）



問 医療的ケア児は、市内の小・中学校に通うことができる体制になつていくか。

答 市内小・中学校へ医療的ケア児が就学や転入する際には、保護者からの聞き取りなどを実施しながら、望ましい就学形態を検討し、受け入れをしている。
問 看護師は配置されるか。

答 市内小・中学校において医療的ケア児が在籍する際には、学校看護師を配置している。
問 災害時に備え、医療的ケア児は避難行動要支援者名簿に登録されているか。

答 小児慢性特定疾患などにより医療機器を使用している人の情報

提供を鴻巣保健所に依頼し、避難行動要支援者名簿に登録している。

問 個別避難計画は立てられているか。

答 平時から避難支援等関係者への情報提供に同意がある人については、本人または家族が記入した個別避難計画を市に提出していただいている。災害時など、必要に応じて自主防災会などの避難支援等関係者に提供をしている。

問 人工呼吸器の電源や蓄電池に対して補助金交付はあるのか。

答 人工呼吸器を使う医療的ケア児に対し、日常生活用具として外部バッテリーやポータブル電源の給付を行っている。

その他の質問

- 鴨川
- 公文書管理条例

上平広場の有効活用を



新道龍一（志誠ネット）



問 上平広場は、図書館建設計画がなく、暫定利用の状態が約2年続いている。なかなか今後の活用方針が決まらないが、市民に愛され、喜ばれる機会の喪失、シテイセールスや地域活性化の観点からも経済的損失は大きい。上平地区を拠点とした上平広場の有効活用がもたらすが、いかに創出について、市長の考えは。

答 活力ある市を築くために、地域資源を有効に活用し、にぎわいを創出することは極めて重要である。現在、上平広場は暫定利用ではあるが、多くの人が集い、楽しめるような地域の拠点としての

ぎわい創出につなげられるよう取り組む。

問 計画を凍結した責任者として、市長任期中における上平広場の有効活用に向けた決意と優先度を伺う。

答 政策的な判断をした場所であることから、その方向性を示すことは重要な責務の一つである。まちづくりを進める上で、上平広場の土地の有効活用は大変重要な位置付けであり、引き続き公共施設マネジメント計画との整合性を図りつつ進めていく。



上平広場

その他の質問

- 上尾市産業振興ビジョンと賑わい創出
- スポーツ健康都市に相応しい環境整備を

人生100年時代を見据え、健康に暮らせるために!!



浦和三郎（政策・市民の声）



問 ハイリスクアプロイチとは何か。

答 フレイルリスクの高い高齢者を個別支援することである。

問 ポピュレーションアプロイチとは何か。

答 地域の通いの場などに向き、積極的にフレイル予防などの普及啓発活動を行う。

問 それぞれの実施上の課題と解決策は。

答 ハイリスクアプロイチは、事業の参加率が低いことや継続的な支援の方法などが課題である。ポピュレーションアプロイチは、フレイル予防講座を実施する医療専門職が限られ、対象範囲の拡大や事業実施地区への継続的な支援が課題である。

今後、ハイリスクアプロイチの参加率向上に向けて、フレイル予防の重要性を認識してもらう通知を作成し、電話や個別面接の他、参加しやすい方法を検討する。共通課題である幅広い継続的な支援については、関係課の連携を高めつつ、他の機関とのさらなる協力体制を構築する。

問 歯が悪くなると食事量を多く取ることが難しい。タンパク質の摂取方法を広報する必要があるのではないか。

答 新たに導入予定の健康管理アプリなどを活用し周知していく。また、市ホームページから県のフレイル予防のレシピを閲覧できるようにしている。

その他の質問

- 教育委員会の働き方改革

ボール遊びができる公園を／ 老人福祉センターの浴場は

新藤孝子（日本共産党）



問 ボール遊びができる公園を

答 ボール禁止の公園が多く、思い切り遊べないと子どもから要望があるが認識は。

問 小・中学生を中心に要望が届いているが、街区公園は面積が小さく、周辺に住宅などが密集しており、ボール遊びや大きな声への苦情が多いため、ボールの利用などに制限を設けている公園がある。

問 市民ニーズを反映するための取り組みは。

答 アンケート調査や地元説明の他、ワークショップも開催した。また、ボール利用できる公園を市ホームページで公開している。

老人福祉センターの浴場

場は

問 浴場廃止の理由は。

答 施設の老朽化に伴う大規模改造工事に合わせ、浴場の存続を検討した。その結果、利用者が少数で固定化していること、工事費・維持管理費が大きいこと、アンケートでは「続けなくていい」などの回答割合が多かったことから廃止を決定した。

問 近隣市町の状況は。

答 さいたま市、桶川市、伊奈町、蓮田市などに設置があるが、一部休止中の施設もある。

問 近隣市町と相互利用協定を締結し、利用できるようにしては。

答 各施設の収容規模の状況から利用は難しいが、連携については今後研究していく。

その他の質問

●地域公共交通の充実で移動の保障を

エアコンを、子どもたちが 主人公の学校に

平田通子（日本共産党）



問 大石中学校の3年生264人が、学校や公園などについて、将来の上尾市を良くしてほしいという幅広い要望や願いを手紙に書いて市長に手渡したとのことだが、市長の感想を伺う。

答 中学生が、より良い社会の実現を目指す主権者としての課題意識を持ち、自ら考え行動できるように頑張ってほしいと思う。いただいた声はしっかり受け止め、参考にしていきたい。

問 新聞記事では、特別教室にエアコンを設置してほしいという子どもたちの強い要望が書かれていたが、市長はどのように受け止めたか。

答 地方自治や住民の権利を学ぶ中で、身近なエアコン設置など市政の課題を題材に自らの考えをまとめ、手紙を出されたことは素晴らしい行動で、頼もしい。より一層市政に興味を持ってほしい。

その他の質問

●おやまだい医院の再開で市民の健康増進を
●会計年度任用職員の雇用の保障を

エネルギー政策と ゼロカーボンシティ

大室 尚（志誠ネット）



問 公共施設のZEB（Net Zero Energy Building）化の推進の概要を伺う。

答 ZEB化とは、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことである。本市の公共施設においては、新設、改修をする際にZEB化を目指すこととしている。

問 ペロブスカイト太陽光発電モジュールが各社で実用化に向けて実証実験されている。本市でも採用してみてはどうか。

答 本市の公共施設における再生可能エネルギー導入に有効と思われるため、実証実験への参加を事業者、働き手、市民に呼びかけたい。

その他の質問

●ペロブスカイト太陽光発電モジュールの普及に向けて、今後どのように取り組むか。
●ハウスメーカーや金融機関と連携して、ZEHを新築した際の金利優遇施策などを検討していく。



試作モジュール(出典：パナソニック ホールディングス㈱ペロブスカイト太陽電池特設サイト)

女性の視点を組み込んだ 防災体制の強化を

金澤祥子（無党派）



問 防災は経験や体力面以外にも、乳幼児や女性が被災した際に抱える問題への対応も必要となる。本市の防災担当職員は女性の割合は？

答 全員が男性である。

問 上尾市防災会議の女性委員数、割合は？

答 33人の委員のうち女性は2人、約6%である。委員の多くが関係機関の推薦で選出されるため、選出依頼の際に、なるべく女性の推薦を依頼している。

問 戸崎公園北側未利用地については、防災機能を備えた公園として整備してほしいが、市の現状と見解を伺う。

答 市内の防災機能を備えた公園の現状としては、大規模災害など

の発生時に防災活動の拠点となる指定緊急避難場所兼指定避難所として県営上尾運動公園が指定され、耐震性貯水槽、マンホールトイレ、かまどベンチなどが設置されている。また、市営の公園では、1公園に備蓄倉庫、6公園に飲料水兼用循環式耐震性貯水槽や耐震性貯水槽、広場および3公園にマンホールトイレやかまどベンチ、防災パーゴラを設置している。

なお、戸崎公園は人口集中地区区域外で人口密度が基準値以下のため、現時点では防災公園の指定や防災機能を付加する予定はない。

その他の質問

- 動物の愛護管理
- 学校環境
- 上尾・伊奈広域ごみ処理基本計画

高齢者の準要保護世帯に対する支援策は

秋山かほる（無党派）



問 要介護1および2の想定人数、自己負担増加額は。要介護3から5についても伺う。

答 また、65歳以上で要保護世帯の支給基準は幾らか。1人、2人世帯の具体的な金額は？

問 「第9期上尾市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」期間の令和6年度から8年度までの各介護度別の3年間の延べ人数の推計は、要介護1が8138人、要介護2が7782人、要介護3が5089人、要介護4が4523人、要介護5が2819人となっている。第9期期間中の保険料基準額は、第8期期間中の保険料基準額5603円から12.4%増の62

97円である。

また本市で居宅介護されている場合の生活扶助基準は、65歳の単身世帯が7万1990円、65歳の2人世帯が11万5230円である。

問 高齢者は、準要保護世帯でもあまり支援がない。このような世帯に対する市の施策は？

答 市内に住所がある65歳以上で住民税非課税世帯の人を対象とした電磁調理器や火災警報器、自動消火器を給付する「日常生活用具給付制度」の他、同様の要件で要介護4または5の人を対象にした「紙おむつ給付制度」と「要介護高齢者手当支給制度」がある。

その他の質問

- あたらしい焼却場建設
- 子育て世代の貧困対策

移動の自由を守り買物弱者を救え 農業と給食問題を関連付けて考察

田島 純（志誠ネット）



問 フランスでは、行政が市民の移動の自由を守るために移動システムを整える責任があり、置かれた状況や障害にかかわらず国民の移動の自由を守る「交通権」を法律で定めている。日本においても、交通基本法策定の際に移動の自由の権利を誰が守っていかなければならぬかとの議論があったが、時期尚早との判断で結論が出なかった。これまで地方・過疎地の問題だった公共交通の維持問題は、大都市圏近郊でも深刻な問題になってくるが、「買物弱者」の定義について伺う。

答 「買物弱者」とは、流通機能や交通網の弱

体化とともに、食料品などの日常の買い物物が困難な状況に置かれている人々を指すとされている。

問 農業振興予算を使って安く地元の野菜果物を給食食材として調達することで、子どもたちが地元食材の理解を深められると同時に、農業従事者のモチベーションアップや収入の安定、新規就農者の増加などにつながるよう、より踏み込んだ施策がこれからは必要と考えますが、本市の農業の特色について伺う。

答 社会環境の変化を受け、近年では農業従事者の高齢化、後継者不足、土地持ち非農家が増加しており、農業を取り巻く環境は厳しい状況にある。

その他の質問

- ひきこもり支援



6月定例会会期予定表

6月3日 開会
 6日 質疑、委員会付託
 7日 委員会
 (総務、都市整備消防)
 10日 委員会
 (文教経済、健康福祉)
 12~14・17~19日
 一般質問
 21日 閉会

※開議時間は午前9時30分を予定
 しています。

委員会活動

R6.1.16~R6.4.15

委員会名	月・日	案 件
総務常任委員会	2/21 3/1	・3月定例会提出議案2件を審査 ・3月定例会提出議案6件を審査
文教経済 常任委員会	1/23 3/4	・所管事務調査「上尾市学校施設更新計画実 施計画(素案)について」 ・3月定例会提出議案6件を審査
都市整備消防 常任委員会	3/1	・3月定例会提出議案9件を審査
健康福祉 常任委員会	2/21 3/4 4/9	・3月定例会提出議案1件を審査 ・3月定例会提出議案13件、請願1件を審査 ・所管事務調査「子どもの居場所づくりについて」
議会運営委員会	2/14~3/19	・議会運営について協議(協議回数6回)
予算特別委員会	2/21 2/22 2/26 2/27 2/28 3/5	・正副委員長の互選 ・決算特別委員会の提言確認、部局別審査(総務関係) ・部局別審査(総務・健康福祉関係) ・部局別審査(健康福祉・文教経済関係) ・部局別審査(都市整備消防・文教経済関係) ・総括質疑、討論、採決
議 会 報 編 集 委 員 会	1/18 3/19	・「あげお議会だよりNo.210」について協議 ・「あげお議会だよりNo.211」について協議

* 6月定例会は、6月3日
 (月)に開会予定です。

請願、陳情、要望の提
 出期限は、5月28日(火)
 午後5時までとなります。

上尾市議会ではイン
 ターネットを利用した議
 会中継(ライブおよび録
 画)を行っております。

詳しくは、議会事務局
 (☎775-9467)へお問い
 合わせください。

上尾市議会HPアドレス

<https://www.city.ageo.lg.jp/site/shigikai/>



議会報編集委員会

- 委員長 小池 佑弥
- 副委員長 稲村久美子
- 委員 黒須喜美雄
- 委員 田島 純
- 委員 篠原 文子
- 委員 島津 秋男
- 委員 井上 淳子
- 委員 荒川 昌佑

一意見書5件を原案可決一

3月定例会では、議員提出議案として意見書7件を提出し、5件を可決しま
 した。可決した意見書の件名と提出先は次のとおりです。

◆『集団殺害罪の防止及び処罰に関する条約(ジェノサイド条約)』の早期
 批准を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣 外務大臣 内閣官房長官 衆議院議長 参議院議長

◆食品ロス削減への国民運動の更なる推進を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣 文部科学大臣 厚生労働大臣 農林水産大臣 経済産業大臣 環境
 大臣 内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全) 内閣府特命担当大臣(こども政策)
 衆議院議長 参議院議長

◆認知症との共生社会の実現を求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣 総務大臣 財務大臣 厚生労働大臣 衆議院議長 参議院議長

◆コミュニティーバスを存続させ、地域公共交通の充実発展を図り、利用者
 の交通権を保障することを求める意見書

提出先⇒内閣総理大臣 財務大臣 厚生労働大臣 国土交通大臣 衆議院議長 参議院議長

◆健康保険証廃止に関する意見書

提出先⇒内閣総理大臣 総務大臣 厚生労働大臣 デジタル大臣 衆議院議長 参議院議長

■ 採択された請願

令和6年3月定例会において、
 次の請願が採択されました。
**健康保険証廃止に関する国への意
 見書提出の請願**
 請願者/中澤正雄氏

■ 同意した人事案件

おおいがわしげる
 公平委員会委員・大井川茂氏の任
 期が令和6年3月31日で満了となる
 ため、同氏を再び選任することにつ
 いて同意を求められ、全会一致で同
 意しました。

■ 本宮市との合同研修を開催

2月1日、友好都市である福島県本宮市の市議会議員と合同で、研修会
 を開催しました。弁護士・中澤さゆり氏(南鷹法律事務所)を講師に迎
 え、「地方議員のコンプライアンス」をテーマにご講演をいただき、法令
 順守を超えて議員に求められる姿勢について、改めて認識することができ
 ました。